国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau
NEXCO 中日本　NEXCO 東日本

平成２５年１０月１６日（水）

国土交通省　関東地方整備局　道路部
中日本高速道路株式会社　東京支社
東日本高速道路株式会社　関東支社

記者発表資料

国道468 ROUTE

圏央道（けんおうどう）の開通区間の効果をお知らせします。

平成２５年３月～４月に開通した区間の開通３ヶ月後の整備効果

≪目的地により早く、より確実に≫

- 圏央道利用者は移動時間短縮を実感。
- 物流企業は安定的なダイヤ、配送が可能に。
- バスルート変更に伴い、バス利用客も2割増加。

≪沿線に進む企業立地≫

- 圏央道沿線には、企業が立地。特に開通区間では続々と大規模物流施設が立地。（新規工場の立地面積の伸びは、全国平均の約3倍）
- アクセス向上への期待から、事業用地のPRにも活用。

≪近くなる観光地≫

- 観光地へのアクセスが向上し、観光客が約16％増加したエリアも。

【神奈川県区間】平成25年3月30日（土）開通 海老名（えびな）IC～相模原愛川（さがみはらあいかわ）IC
平成25年4月14日（日）開通 茅ヶ崎（ちがさき）JCT～寒川北（さむかわきた）IC
詳細はこちらをご参照ください。http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yokohama_00000206.html

【千葉県区間】 平成25年4月27日（土）開通 東金（とうがね）JCT～木更津東（きさらづひがし）IC
詳細はこちらをご参照ください。http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/chiba_00000099.html

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ　神奈川建設記者会　茨城県政記者クラブ　埼玉県政記者クラブ　千葉県政記者会
東京都庁記者クラブ　神奈川県政記者クラブ　横浜市政記者会　横浜ラジオ・テレビ記者会
相模原記者クラブ　千葉市政記者会　東金記者クラブ　茂原記者クラブ　市原記者クラブ
木更津記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省　関東地方整備局　道路部　計画調整課　電話　048-600-1343
計画調整課長　久保（くぼ）　尚也（なおや）　建設専門官　栗原（くりばら）　和彦（かずひこ）
中日本高速道路株式会社　東京支社　広報・CSチーム　電話　03-5776-5257（マスコミ専用）
東日本高速道路株式会社　関東支社　広報課　電話　03-5828-8347

整備効果①：所要時間の短縮や交通ネットワークの充実
～目的地により早く、より確実に～

利用者のほかにも、物流会社やバス事業者から喜びの声をいただいています。

- 圏央道利用者からは、「移動時間が短くなった」との声を多数いただき、効果を実感して頂いています。（例：相模原愛川IC周辺～厚木IC間で約20分短縮）。
- 物流企業からは、定時性の確保による安定的な配送が可能になったとの声もあり、企業活動にも圏央道が貢献しています。
- バスルートを圏央道利用に変更し、所要時間が短縮。利用客からも好評で、利用客も2割程度増加。

圏央道沿線の企業や商工会等の声

物流企業の声

圏央道を利用することにより、移動時間が読めることが最大のメリット。安定したダイヤを組むことが可能となり、朝の拠点から各店舗への配送、夕方の各店舗から拠点への配送などにおいて、約２０分の短縮が図られている。

圏央道利用者の声

厚木から相模原へ２０～３０分早く着くようになった。

商工会の声

開通区間を使うと、横浜方面や小田原方面の移動時間の短縮は実感できる。

バス事業者の声

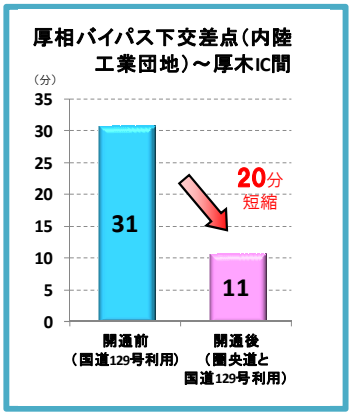
千葉県内と羽田空港・横浜方面を結ぶ路線は圏央道を利用したルートに変更したことで所要時間が短くなり、お客様から「早くなった」とご好評をいただいている。ご利用客も２割程度増加した。

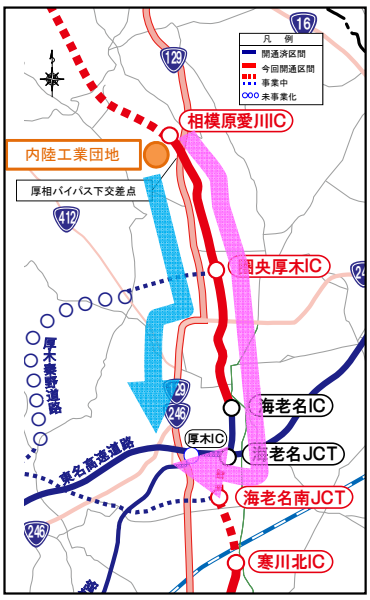
工業団地組合の声

県道42号線の相模川渡河部の座架依橋の渋滞が、開通後はほぼ解消した。

所要時間の短縮

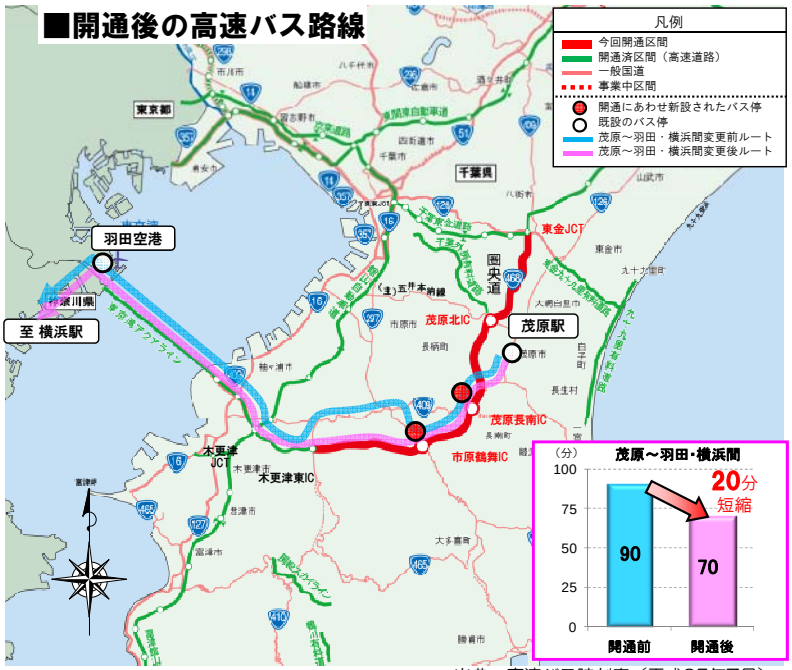
■相模原愛川ICに近接する内陸工業団地から厚木ICを利用する場合





交通ネットワークの充実

■開通後の高速バス路線



出典：（開通前）国道129号： H25.2月平日８時台の民間プローブデータより。
（開通後）国道129号： H25.7月平日８時台の民間プローブデータより。
圏央道については、80km/hとして移動時間を算出。

出典：高速バス時刻表（平成25年7月）

整備効果②：地域活性化への支援（企業立地）
～沿線に進む企業立地～

物流企業や店舗の出店を地域も実感しています。圏央道開通に合わせた企業立地も続々。

- 圏央道沿線には、企業が立地。特に開通区間では続々と大規模物流施設が立地
（圏央道沿線では、開通後、新規工場の立地面積の伸びは、全国平均の約3倍。）
- 圏央道によるアクセス向上への期待から、事業用地のPRにも活用。

圏央道沿線の企業立地状況と企業などの声

相模原愛川IC周辺の物流企業の声

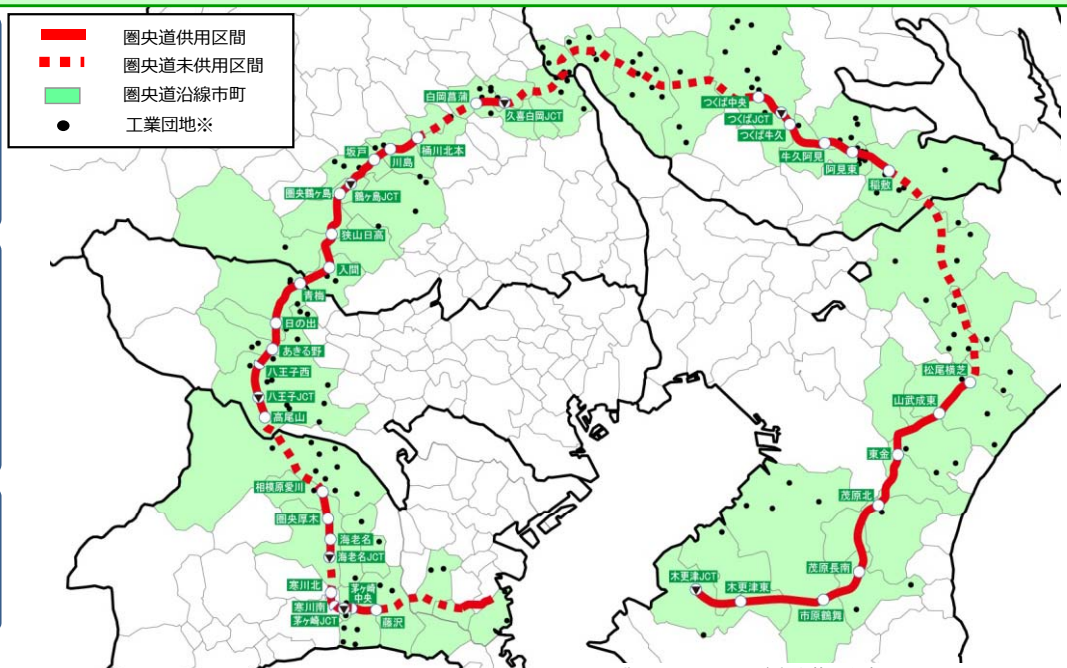
圏央道の整備をにらんで、相模原愛川ＩＣ近くに物流ターミナルを立地しました。

海老名エリア周辺の商業施設立地予定企業の声

圏央道の整備と土地区画整理事業を踏まえ、海老名エリアに大型商業施設の立地を予定しています。

商工会の声

沿線に物流企業の進出や店舗の出店がみられる。



※ 出典：下記のHP上の資料を基に作成
・神奈川県企業誘致促進協議会「かながわ産業立地情報」
・東京都産業労働局「とうきょう産業立地ナビ」
・埼玉県企業立地課「埼玉県工場適地図」
・茨城県圏央道沿線地域産業・交流活性化協議会「いばらぎ圏央道沿線ナビ」
・千葉県企業庁 「工業統計調査結果確報」

平成25年度に開業する主な物流施設（茅ヶ崎JCT～相模原愛川IC）

相模原愛川IC周辺

■ロジポート相模原

■ヤマト運輸㈱
厚木ゲートウェイ

■GLP厚木

圏央厚木IC周辺

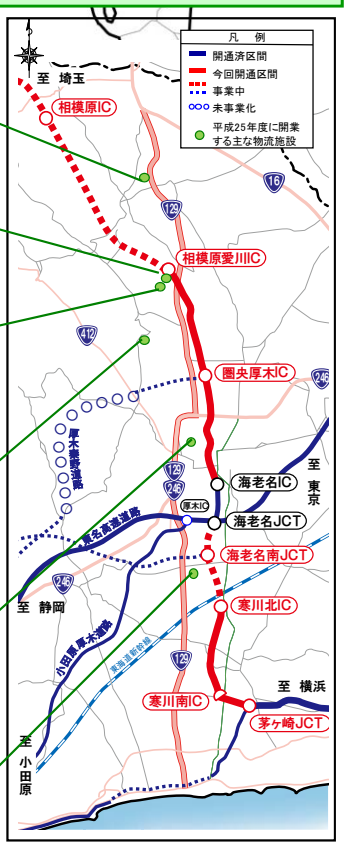
■日本レコードセンター
厚木三田DC

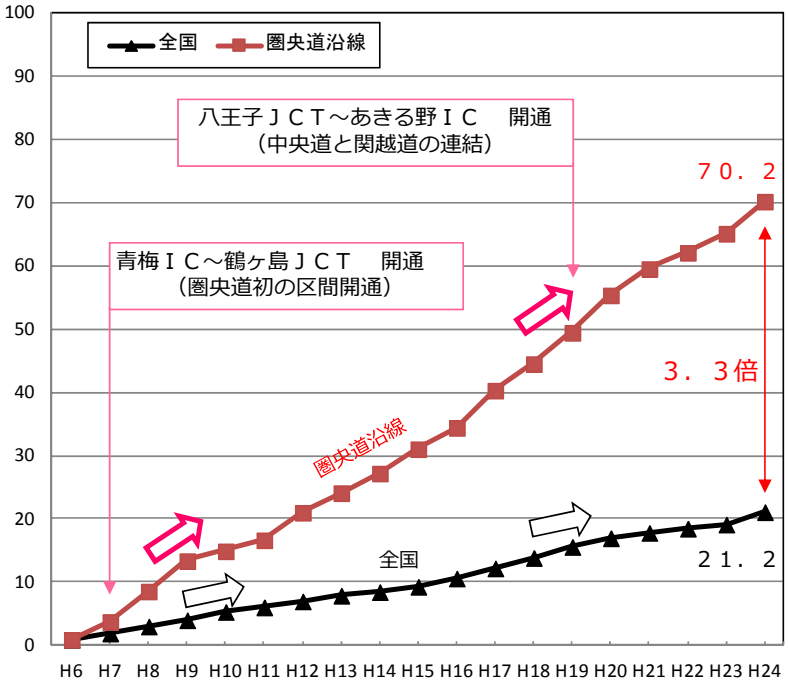
圏央厚木IC・海老名IC周辺

■厚木金田
物流センター

厚木IC周辺

■ファッション アパレル
ロジスティックセンター





出典：「工場立地動向調査」（経済産業省）より作成
※平成6年を1.0とした場合の新規工場立地面積（累積）の推移

整備効果③：地域活性化への支援（観光・レジャー）
～近くなる観光地～

圏央道の開通は、観光、レジャーなどの活動にも寄与。

- 圏央道の開通によって、ICから観光地へのアクセス性が向上し、観光客も増加しました。（千葉県の主な観光地では夏期観光シーズン期間中で昨年度より最大で15.5%増加）※。

※千葉県報道発表資料「平成25年度夏期観光シーズンにおける観光入込状況について」より

観光地へのアクセス性の向上と観光・レジャーへの期待への声

圏央道利用者の声

一般道や首都高を経由せずに遠出出来るようになるので全線開通に期待する。利用頻度が増えると思う。

海水浴場来場者の声

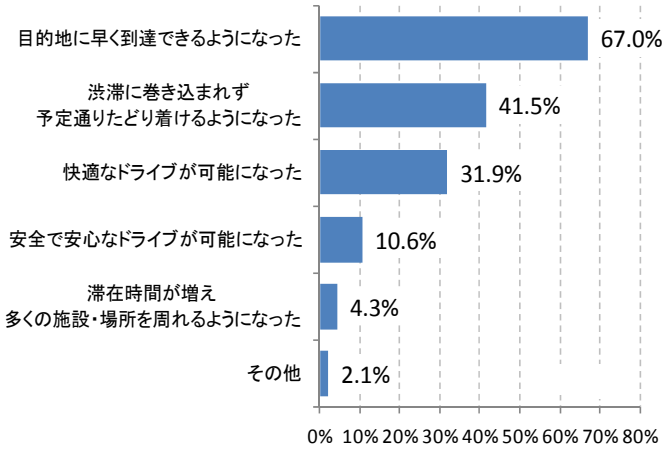
圏央道が出来て、高速ICから海水浴場へアクセスしやすくなりました。（神奈川県在住）

圏央道が開通したので、これまで利用していなかった九十九里周辺の海水浴場に来てみました。（茨城県在住）

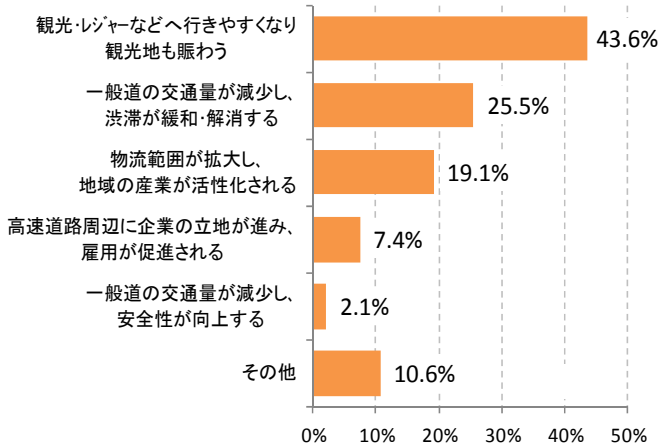
茂原七夕まつり実施委員会の声

東京都在住の方から圏央道利用して茂原七夕まつりへ行きたいなどの問い合わせをいただくなど、祭りに来られる方が多方面から来られるようになったと実感しています。

■開通区間の利用者が実感されている効果（複数回答有）N=94



■圏央道に対する期待・ご意見（複数回答有）N=94



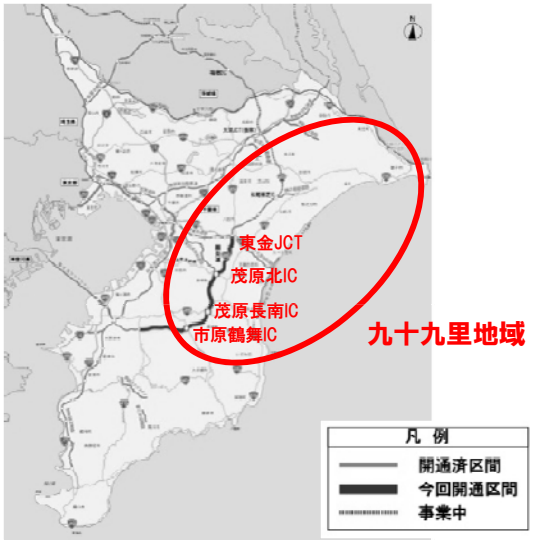
夏期観光シーズンの観光入込状況

■夏期観光シーズンにおける観光入込状況

（単位：人地点）

	観光・レクリエーション施設（41施設）		
	H25(A)	H24(B)	対H24年比(%)(A/B)
ベイエリア・東葛飾地域	566,587	565,697	0.2
北総地域	206,216	187,609	9.9
九十九里地域	262,391	227,185	15.5
南房総地域	578,237	549,688	5.2

出典：千葉県報道発表資料　「夏期観光シーズンにおける観光入込状況について」



これからも圏央道が続々開通します。

注1：久喜白岡JCT～木更津東IC間は、暫定2車線
注2：未開通区間のIC・JCT名は仮称（海老名南JCT、相模原ICを除く）
注3：※１の区間の開通時期については検討が必要
注4：※２の区間の開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

■今後、ますます繋がる圏央道への期待

相模原愛川IC周辺の物流企業の声

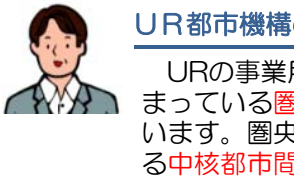
相模原愛川ＩＣ－高尾山ＩＣ間が開通することにより、中央自動車道や関越自動車道にも接続し、広域でのサービス展開が可能になります。

圏央道（千葉区間）を経由する高速バス事業者の声

今後、松尾横芝IC―大栄JCTが開通することで、今回の開通にあわせて新設した高速バス（木更津～成田空港）の所要時間がより短縮され、利便性向上につながるので、早期開通を望みます。

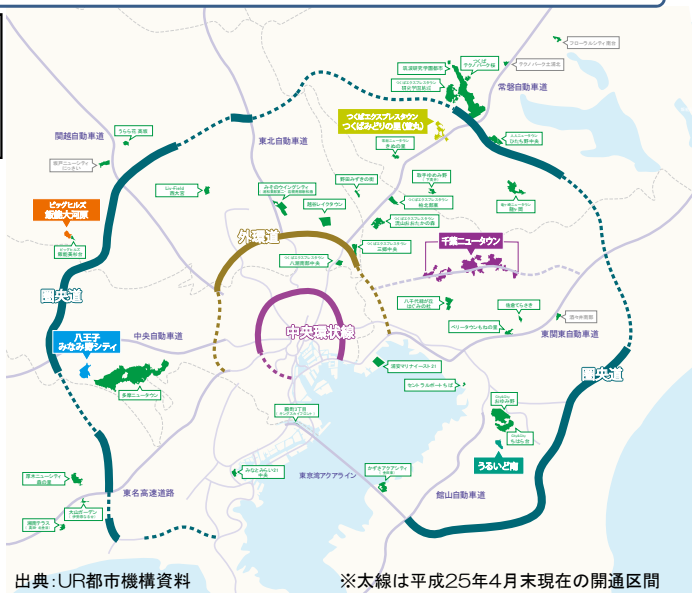
出典：UR都市機構

写真：JRへの広告掲載状況（H25.9撮影）



ＵＲ都市機構の声

URの事業用地は、特に首都圏で注目が集まっている圏央道沿線に様々な地区を展開しています。圏央道の開通で、首都圏広域に展開する中核都市間や成田空港、横浜港などへのアクセスの向上に期待しています。



出典：UR都市機構資料　※太線は平成25年4月末現在の開通区間

【参考】圏央道開通区間概要

●首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約170km（約６割）が開通しています。

●今回開通区間の概要

路　線　名　　：国道４６８号　首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

①開通区間　　：茅ヶ崎JCT（茅ヶ崎市西久保（にしくぼ））～寒川北IC（高座郡寒川町宮山（こうざぐんさむかわまちみややま））
開通日時　　：平成25年4月14日（日）15時
延　長　　：５．１ｋｍ
車線数　　：４車線
開通IC・JCT：茅ヶ崎JCT、寒川南IC※1 、寒川北IC
アクセス道路：新湘南ﾊﾞｲﾊﾟｽ、（主）伊勢原藤沢線、（主）相模原茅ヶ崎線

②開通区間　　：海老名IC（海老名市中新田（なかしんでん））～相模原愛川IC（相模原市南区当麻（みなみくたいま））
開通日時　　：平成25年3月30日（土）15時
延　長　　：１０．１ｋｍ
車線数　　：４車線
開通IC　　：圏央厚木IC、相模原愛川IC
アクセス道路：国道129号、（主）相模原町田線

③開通区間　　：東金JCT（東金市丹尾（たんのお））～木更津東IC（木更津市下郡（しもごおり））
開通日時　　：平成25年4月27日（土）14時
延　長　　：４２．９ｋｍ
車線数　　：暫定2車線
開通IC　　：東金JCT、茂原北IC、茂原長南IC、市原鶴舞IC、高滝湖PA ※2
アクセス道路：千葉東金道路、国道126号、（主）五井本納線、
国道409号（長生ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ）、国道297号

※1 寒川南ICはハーフICのため、寒川北IC方面へ の乗り入れ、寒川北IC方面からの降車のみのご利用となります。
※2 高滝湖PA　（内回り）7月12日オープン　（外回り）工事中

■今回開通区間の位置図